

## 「短期的に取り組むべき事業」の選定の考え方（案）

2019 年のラグビーワールドカップ、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、多岐に渡る受入環境整備事業について、優先順位を定め、官民が役割分担しながら着実に進めていくことで、事業効果を挙げていく必要がある。

そこで、事業の優先順位が高い「短期的に取り組むべき事業」を次の視点で選定する。

なお、この場合の「短期的に取り組むべき事業」とは、2018 年度から 2020 年度までの 3 ヶ年で取り組むことが望ましい事業とする。

外国人観光客のニーズが高いもの

広域的な周遊観光に直接的につながるもの

観光客に快適な旅をしてもらうために緊急に整備すべきインフラ